

講評



読売新聞東京本社前橋支局長

春日 貴光 様

群馬ふるさとづくり賞を受賞された高崎市の『NPO 法人 DNA (Design Net-works Association)』の皆さん、奨励賞を受賞された沼田市の『沼田市立白沢中学校』の皆さん、みどり市の『とまり木』の皆さんおめでとうございます。

ふるさとづくり賞を受賞した DNA は、キャリア教育プログラム「未来の教室」を 2013 年から行ってきました。中高生が、社会人や大学生などの先輩達と語り合っ、気づいたことを今後の学生生活の参考にするものです。社会人として市役所職員に参加してもらい、地域の人材育成事業として、行政も巻き込んだキャリア教育を行っています。こうした珍しいかたちには驚きました。社会人から話を聞いた中高生たちが、今後の地域づくりの核となってくれるに違いないという期待もあり、評価が集まりました。審査委員からは、「地方が疲弊している中で、故郷を大事に思う気持ちを大切に、生きる喜びなどを伝えている活動に感動した」という声が上がりました。

奨励賞に選ばれた沼田市立白沢中学校は、2 年生全員が菊を育て、地域のひとり暮らしの高齢者にプレゼントする地道な活動を、18 年に渡って取り組んできました。長い期間よく活動してきたと率直に感じました。夏休みには、交代で登校して水やりをするなど、努力している様子も窺えました。審査委員からは、「他の学年にも広がりがあれば、なお良い」という感想がありました。

とまり木は、2 年前から子どもの居場所をつくる活動に取り組んできました。子どもたちの食事会や水泳バッグ作りなどの活動をしています。地域の高校生や大学生のボランティア組織なども巻き込んでおり、活動の幅を広げているところが評価されました。審査委員からは、「若い方が積極的に活動に参加しており、今後の活動に伸びしろを感じる」という声がありました。

3 団体の評価は、本当に僅差でした。活動の先駆性、継続性などを考慮し、1 団体をふるさとづくり賞に、続いて推す声が多かった 2 団体を奨励賞とすることで意見がまとまりました。地域に密着し活動を続けている皆さんには、本当に頭が下がるばかりです。賞を励みに、皆さんの活動がますます発展されることを願っています。誠におめでとうございます。

